



BAR 2.1 DEEP BASS



取扱説明書

重要な安全上の注意

使用前に電源電圧を確認する

JBL Bar 2.1 Deep Bass (サウンドバー部およびサブウーファー部) は100~240ボルト、50/60HzのAC電流で使用できるように設計されています。本製品が対応していない電源電圧に接続すると、安全上の問題および火災の危険があり、本機に損傷を与える可能性があります。特定のモデルの電圧の必要性、またはお住まいの地域の電源電圧についてご質問がありましたら、壁のコンセントに本機をつなぐ前に販売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

延長コードは使用しないこと

危険を回避するため、本機に付属した電源コード以外は使用しないでください。本製品に延長コードを使用することはお勧めできません。全ての電気器具と同様、電源コードをじゅうたんまたはカーペットの下に通したり、上に重いものを置かないでください。破損した電源コードが同梱されていた場合は、認定サービスセンターがただちに工場の仕様に適合したものにお取替えします。

AC電源コードは丁寧に扱ってください

ACコンセントから電源コードを外す時は、常にプラグを持つようにしてください。絶対にコードを引っ張らないでください。長期間このスピーカーを使用するつもりがない場合、ACコンセントからプラグを外してください。

本体を分解しない

本製品内にはお客様が修理できる箇所はありません。本体を開けると感電する可能性があり、製品に何らかの改造を行うと、お持ちの保証書が無効になります。水が誤って本機内に入った場合、ただちにAC電源から本体を取り外し、認定サービスセンターにご相談ください。

目次

重要な安全上の注意	2	9 ソフトウェアのアップデート	11
1 はじめに	4	10 サブウーファースの再接続	11
2 同梱品	4	11 製品仕様	12
3 製品の概要	5	12 トラブルシューティング	12
3.1 サウンドバー	5	13 商標	13
3.2 サブウーファー	5	14 オープンソースのライセンスに関する注意	14
3.3 リモコン	6		
4 設置	6		
4.1 机上への設置	6		
4.2 壁への取り付け	7		
5 接続	7		
5.1 TVへの接続	7		
5.2 デジタル機器への接続	8		
5.3 BLUETOOTH接続	8		
6 再生	9		
6.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ	9		
6.2 TVソースからの再生	9		
6.3 HDMI 入力ソースの再生	10		
6.4 BLUETOOTHソースからの再生	10		
7 サウンドの設定	10		
8 工場出荷時の設定への復元	11		

1 はじめに

JBL Bar 2.1 Deep Bassをお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品は、比類なきサウンド体験を生み出すように設計された、ホームエンターテインメントシステムです。少々お時間を割いて、この取扱説明書に目を通されることをお勧めします。この取扱説明書では製品に関する説明と使用開始するまでの各手順をひとつひとつ説明しています。

製品の機能とサポートをフル活用するには、USBコネクタで製品のソフトウェアをアップデートする必要があります。この取扱説明書のソフトウェアアップデートセクションを参照して製品のソフトウェアが最新バージョンになっていることを確かめください。

設計と仕様は予告なしに変更されることがあります。サウンドバーと設置または操作について何かご質問がありましたら、販売店またはカスタマーサービスにご連絡いただくか、または当社のウェブサイト、www.jbl.comをご覧ください。

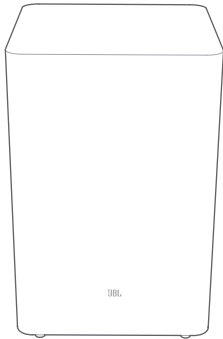
2 同梱品

注意して箱を開封し、以下の部品が同梱されていることを確かめください。いずれかの部品が破損している、または見当たらない場合は、小売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

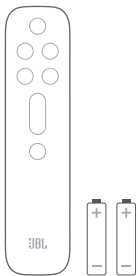
サウンドバーユニット



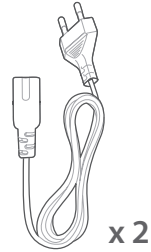
サブウーファーユニット



リモコン(単4乾電池2本付属)



電源コード*

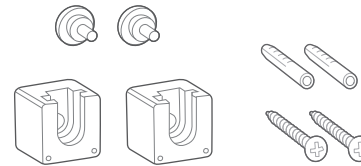


*電源コードとプラグタイプは地域によって異なります。

HDMIケーブル



壁取り付け用キット

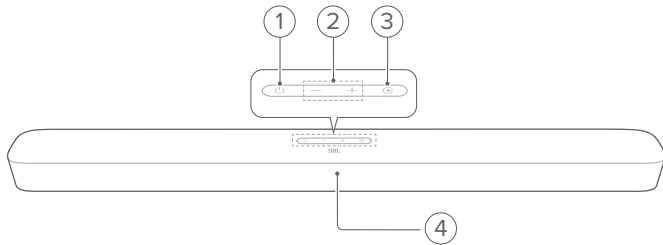


製品情報&壁取り付け用型紙



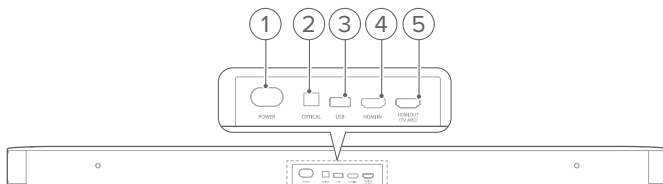
3 製品の概要

3.1 サウンドバー コントロール



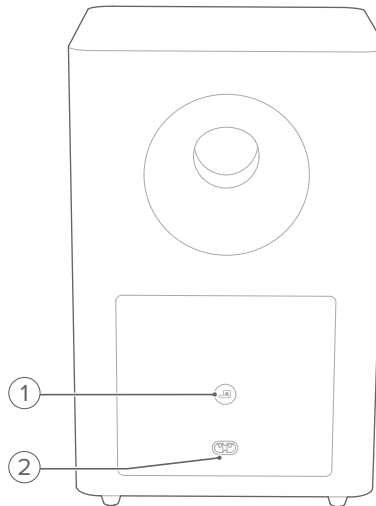
1. **⏻(電源)**
 - 電源をオンまたはスタンバイ状態にする
2. **-/+ (音量)**
 - 音量の増減
 - 押し続けると音量が増減していきます。
 - 2つのボタンを同時に押し続けてミュートまたはミュート状態を解除します
3. **⌂ (ソース)**
 - 音源を選択してください:**TV** (初期値)、**Bluetooth**または**HDMI IN**
4. **ステータス表示**

端子



1. **POWER**
 - 電源への接続
2. **OPTICAL**
 - TVまたはデジタル機器の光デジタル出力と接続します
3. **USB**
 - ソフトウェアアップデート用USB端子
 - USBストレージを接続することで音楽再生が可能(米国バージョンのみ)
4. **HDMI IN**
 - デジタル機器のHDMI出力に接続します
5. **HDMI OUT (TV ARC)**
 - TVのHDMI ARC入力に接続します

3.2 サブウーファー

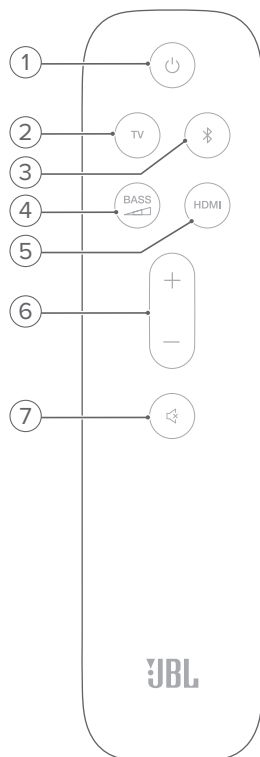


1. **🔌**
 - 接続状態のインジケータ

○	白く点灯	サウンドバーに接続済み
◐	白色で点滅	ペアリングモード
●	赤色で点灯	スタンバイモード

2. **POWER**
 - 電源への接続

3.3 リモコン

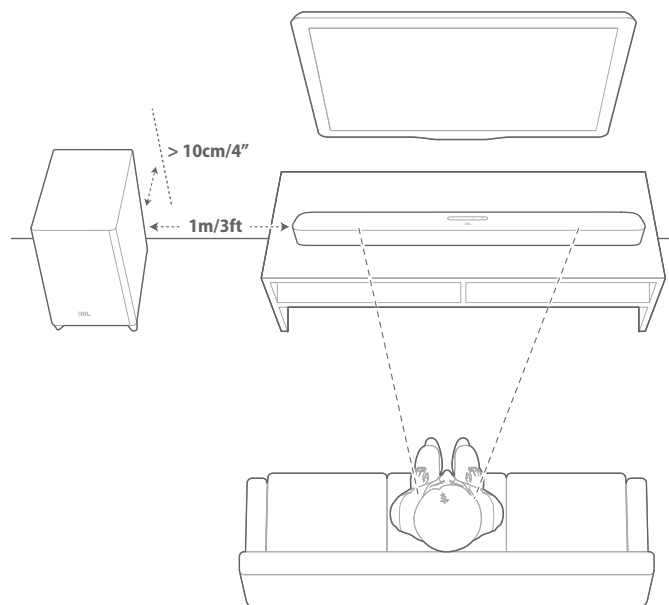


1. 電源 (Power)
 - 電源をオンまたはスタンバイ状態にする
2. TV
 - TVソースを選択します
3. Bluetooth
 - Bluetoothソースを選択します
 - 長押しすると、別のBluetooth対応機器と接続できます
4. BASS
 - subwoofer用の低音レベルを選択します: 低、中、高
5. HDMI
 - HDMI INソースを選択します
6. +/-
 - 音量を増減します
 - 長押しすると、連続的に増減します
7. ミュート (Mute)
 - ミュート/ミュート解除

4 設置

4.1 机上への設置

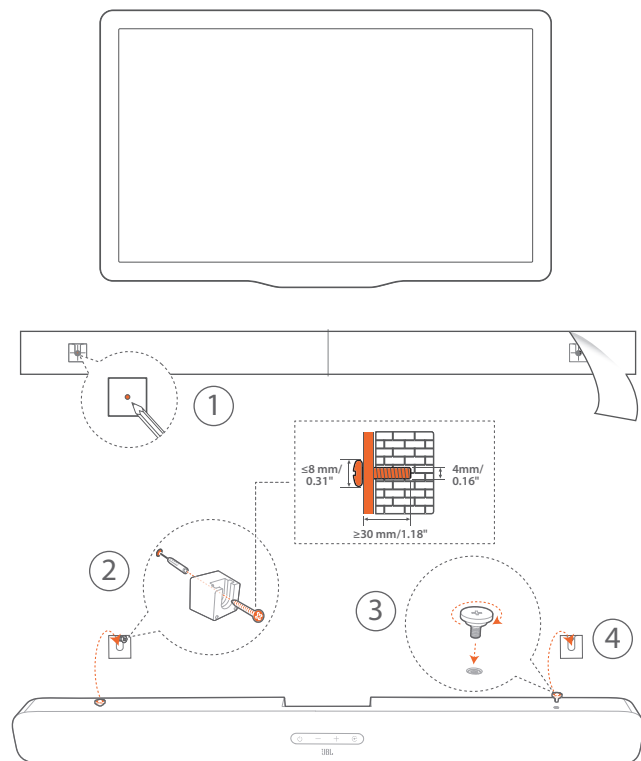
水平で安定した台の上にサウンドバーとサブウーファーを設置してください。サブウーファーがサウンドバーから最低1m、壁から10cm離れていることをご確認ください。



注:

- 電源コードを正しく電源に接続してください。
- サウンドバーとサブウーファーの上には何も置かないでください。
- サブウーファーとサウンドバー間の距離が6m以内であることをご確認ください。

4.2 壁への取り付け



1. 準備:

- TVから最低50mm離して、粘着テープで付属の壁取り付け用型版を貼り付けてください。
- ボールペンでねじ穴の位置に印を付けてください。その後、型紙を取り外してください。
- 印を付けた壁に4mmの穴を開けてください。ねじのサイズについては図1をご覧ください。

- 壁取り付け用金具を取り付けます。
- サウンドバーの背面でねじを締めて固定します。
- サウンドバーを取り付けます。

注:

- 壁がサウンドバーの重量に耐えられることをご確認ください。
- 垂直の壁以外には取り付けないでください。
- 高温・高湿度状態での設置はおやめください。
- 壁に取り付ける前に、さうんばーと外部機器の間のケーブルが全て正しく接続されていることをご確認ください。
- 壁への取り付け前に、サウンドバーの電源が入っていないことをご確認ください。電源が入っていると、感電の原因となることがあります。

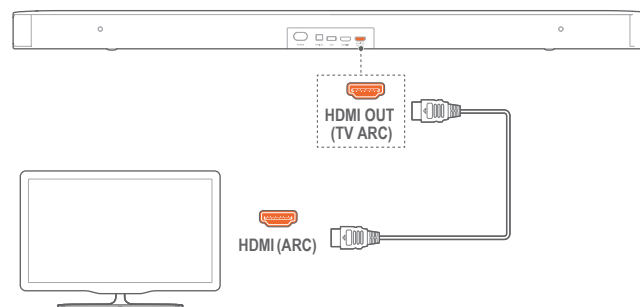
5 接続

5.1 TVへの接続

付属のHDMIケーブル、または光デジタルケーブル(別売)を使って、サウンドバーをTVに接続してください。

付属のHDMIケーブルを使う

HDMI接続は、ケーブル1本の接続によりオーディオとビデオ両方を出力できます。HDMIに対応しているTVの場合は、この接続方法を推奨します。

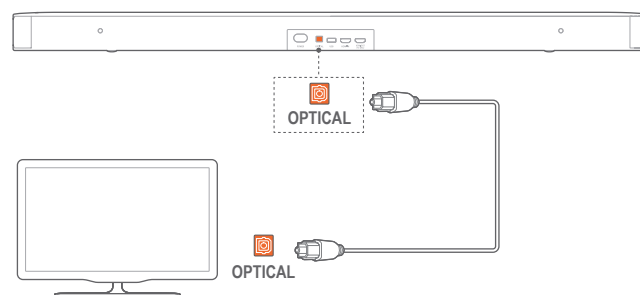


- 付属のHDMIケーブルを使って、サウンドバーをTVに接続してください。
- TVがHDMI-CECとHDMI ARCに対応しているかどうかを確認してください。詳細についてはTVの取扱説明書をご参照ください。

注:

- HDMI-CEC対応機器との動作は完全には保証できません。
- TVのHDMI-CEC対応に問題がある場合は、TVのメーカーにお問い合わせください。

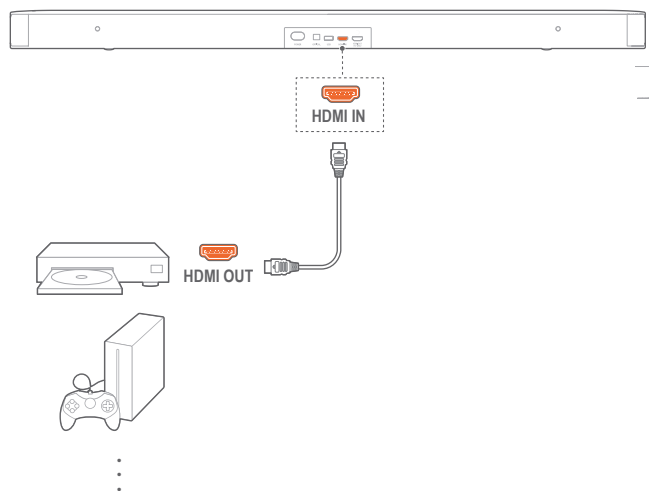
光デジタルケーブルを使う



- 光デジタルケーブル(別売)を使って、サウンドバーをTVに接続してください。

5.2 デジタル機器への接続

1. HDMI ARC接続でTVにサウンドバーが接続されていることをご確認ください(「接続」の章の「TVへの接続」の下にある「付属のHDMIケーブルを使う」をご覧ください)
2. HDMIケーブル(ver.1.4以降)1本で、セットトップボックス、DVD/Blu-rayプレーヤーまたはゲーム機などのデジタル機器とサウンドバーを接続してください。
3. デジタル機器がHDMI-CECに対応していることを確認してください。詳細についてはデジタル機器の取扱説明書をご参照ください。

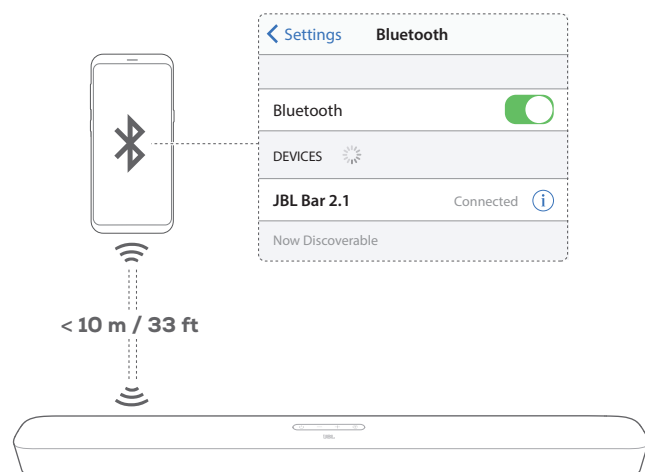


注:

- デジタル機器のHDMI-CEC対応に問題がある場合は、機器のメーカーにお問い合わせください。

5.3 Bluetooth接続

Bluetoothで、スマートフォン、タブレット、ノートパソコンといったBluetooth対応機器にサウンドバーを接続してください。



Bluetooth対応機器への接続手順

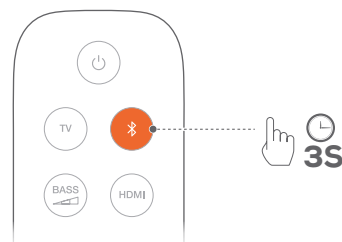
1. 電源ボタンを押して電源を入れます(「再生」の章の「電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ」をご覧ください)。

2. Bluetoothソースを選択するには、サウンドバーまたはリモコンの Bluetooth ボタンを押してください。G
→ 「BT PAIRING」: Bluetoothペアリングの準備
3. Bluetooth対応機器では、Bluetoothを有効にすると3分以内に「JBL Bar 2.1」を検索します。
→ 機器の名称が英語の場合は、英語で表示されます。確認音が鳴ります。

以前ペアリングした機器を再接続するには

本機はスタンバイモード時も接続したBluetooth対応機器を記憶しています。次の機会にBluetoothソースに切り替えた際、自動的に最後に接続した機器との再接続を行います。

別のBluetooth対応機器に接続するには



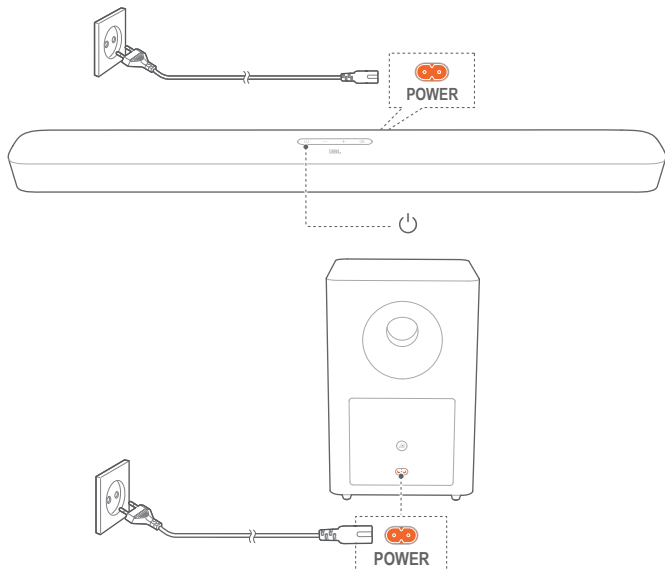
1. Bluetoothソースで「BT PAIRING」が表示されるまで、サウンドバーまたはリモコンの Bluetooth ボタンを長押ししてください。G
→ 以前に接続していた機器はサウンドバーから消去されます。
→ サウンドバーがBluetoothペアリングモードに入ります。
2. 「Bluetooth対応機器への接続手順」のステップ3に従ってください。
 - 機器がサウンドバーとペアリングされていた場合は、まず機器の「JBL Bar 2.1」のペアリングを解除してください。

注:

- Bluetooth接続は、サウンドバーとBluetooth対応機器の距離が10mを超えている場合、接続が切れてしまいます。
- 電子機器があると、電波が干渉を受けることがあります。電子レンジ、ワイヤレスLAN機器などの電磁波を出す機器はサウンドバーから離してお使いください。

6 再生

6.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ



電源オン

1. 付属の電源コードで、サウンドバーとサブウーファーを電源に接続してください。
2. サウンドバー本体の \odot ボタンを押して電源を入れてください。
 - 「HELLO」と表示されます。
 - サブウーファーはサウンドバーに自動的に接続されます。接続済み： \odot 白色で点灯します。

注:

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- サウンドバーの電源を入れる前に、他の接続（「接続」の章の「TVへの接続」と「デジタル機器への接続」をご覧ください）が全て完了していることをご確認ください。

オートスタンバイ

サウンドバーが10分以上作動しない場合、自動的にスタンバイモードに切り替わります。「STDBY」と表示されます。サブウーファーもスタンバイモードに入ると、 \odot が赤色で点灯します。

次の使用時にサウンドバーの電源を入れると、最後に選択されたソースに戻ります。

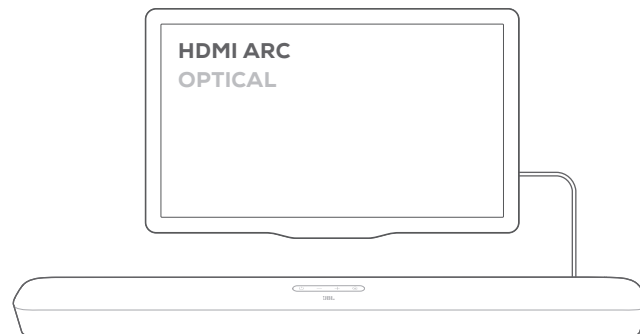
オートウェイクアップ

サウンドバーは下記の動作によって自動的にスタンバイモードから復帰します。

- サウンドバーがHDMI ARCでTVと接続されている場合は、TVの電源が入った時。
- サウンドバーは光デジタルケーブルによってTVに接続され、光デジタルケーブルからのオーディオ信号を検知します。

6.2 TVソースからの再生

サウンドバーを接続すると、サウンドバースピーカーでTVの音を楽しむことができます。



1. TVが外部スピーカーに対応するように設定されていて、TV内蔵スピーカーが無効になっていることをご確認ください。詳細についてはTVの取扱説明書をご参照ください。
2. サウンドバーがTVに正しく接続されていることをご確認ください（「接続」の章の「TVへの接続」をご覧ください）。
3. TVソースを選択するには、サウンドバー本体の \odot ボタンまたはリモコンのTVボタンを押してください。
 - 「TV」:TVソースが選択されました。
 - 工場出荷時の設定では、デフォルトでTVソースが選択されています。

注:

- サウンドバーがHDMIと光デジタル端子の両方のケーブルでTVに接続されている場合、HDMIケーブルによる接続が優先されます。

6.2.1 TVリモコンの設定

TVとサウンドバーの両方をTVリモコンで操作するには、TVがHDMI-CECに対応しているかを確認してください。TVがHDMI-CECに対応していない場合、「TVリモコンラーニング」の手順に従ってください。

HDMI-CEC

TVがHDMI-CECに対応している場合は、TVの取扱説明書に記載されている機能を使用できます。TVリモコンで、サウンドバーの音量の+/-、ミュート/ミュート解除、電源オン/スタンバイ機能を操作できます。

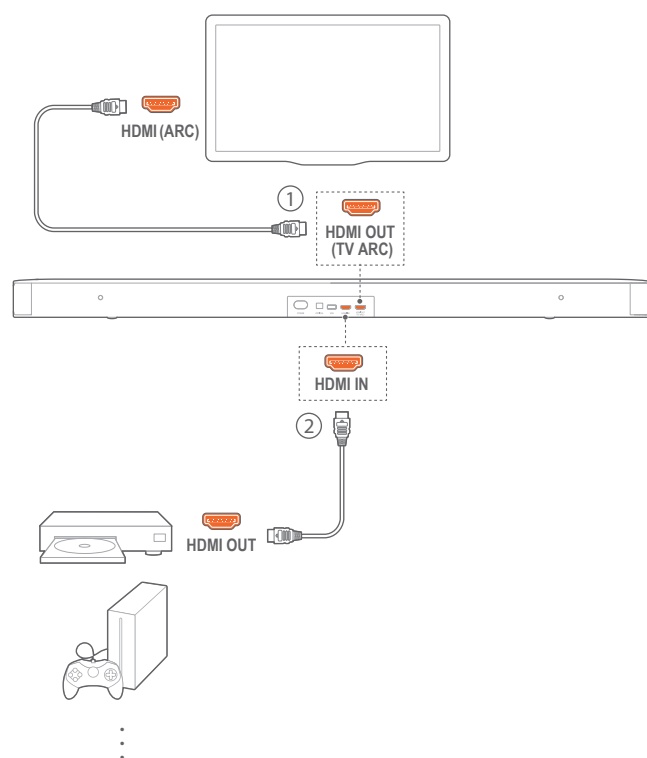
TVリモコンラーニング

1. サウンドバー本体の+ボタンを「LEARNING」と表示されるまで \odot 長押ししてください。
 - TVリモコンラーニングモードに入ります。
2. 15秒以内にサウンドバーとTVリモコンで以下の操作を行ってください。
 - a) サウンドバー: 次のボタンの一つを押してください。+、-、+および-を同時に（ミュート/ミュート解除機能用）押し、そして \odot を押してください。
 - b) TVリモコン: お好きなボタンを押してください。
 - 「WAIT」とサウンドバーに表示されます。
 - 「DONE」: TVリモコンボタンがサウンドバーのボタンの機能を学習します。

- ボタンラーニングを完了するには、ステップ2を繰り返してください。
- TVリモコンラーニングモードを終了するには、「EXIT LEARNING」と表示されるまでサウンドバー本体の**G+** ボタンを長押ししてください。
→ サウンドバーは最後に選択されたソースに戻ります。

6.3 HDMI 入力ソースの再生

下図のようにサウンドバーを接続すると、デジタル機器はTVで映像を再生しながら音声をサウンドバーから出力することができます。



- サウンドバーがTVおよびデジタル機器に正しく接続されていることをご確認ください(「接続」の章の「TVへの接続」と「デジタル機器への接続」をご覧ください)。
- デジタル機器の電源を入れてください。
→ TVとサウンドバーがスタンバイモードから復帰し、自動的に入力ソースを切り替えます。
 - サウンドバーのHDMI 入力ソースを選択するには、サウンドバー本体またはリモコンの**HDMI**ボタンを押してください。**G**
- TVがスタンバイモードに切り替わります。
→ サウンドバーとソース機器がスタンバイモードに切り替わります。

注:

- HDMI-CEC機器への完全対応は保証できません。

6.4 Bluetoothソースからの再生

Bluetoothを使って、Bluetooth対応機器からサウンドバーにオーディオをストリーミング再生します。

- サウンドバーがBluetooth対応機器に正しく接続されていることを確認してください(「接続」の章の「Bluetooth接続」をご覧ください)。
- Bluetoothソースを選択するには、サウンドバーの**G**またはリモコンの**B** ボタンを押してください。
- Bluetooth対応機器でオーディオ再生を開始します。
- サウンドバーまたはBluetooth対応機器の音量を調節します。

7 サウンドの設定

低音の調整

- サウンドバーとサブウーファーが正しく接続されていることを確認してください(「再生」の章の「電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ」をご覧ください)。
- リモコンで、**BASS**を繰り返し押し、低音レベルを切り替えてください。
→ 「**LOW**」、「**MID**」、「**HIGH**」と表示されます。

オーディオシンク

ビデオコンテンツの映像と音声にズレを感じる場合は、オーディオシンク機能により調整ができます。

- リモコンで、「**SYNC**」が表示されるまで**TV**ボタンを長押ししてください。
- 5秒以内に、リモコンの**+**または**-**ボタンを押して音声の遅延を調節し、ビデオに合わせます。
→ オーディオシンクのタイミングが表示されます。

スマートモード

本機は音響効果により深みのある音声中でTV番組を楽しむ、スマートモードに設定されています。ニュースや天気予報といった音響効果を必要としない番組では、スタンダードモードに切り替えて音響効果を低減し、より音声が聞き取りやすく変更することもできます。

スマートモード:音響効果に深みを持たせるため、EQ設定とJBLサラウンドサウンドを使用します。

スタンダードモード:スタンダード音響効果には、プリセットEQ設定を使用します。

スマートモードを無効にするには、以下の手順に従ってください:

- リモコンで「**TOGGLE**」が表示されるまで**B**ボタンを長押ししてください。その後、**+**ボタンを押します。
→ 「**OFF SMART MODE**」:スマートモードが無効になります。
→ 次の使用時にサウンドバーの電源を入れると、スマートモードは再度、自動的に有効になります。

8 工場出荷時の設定への復元

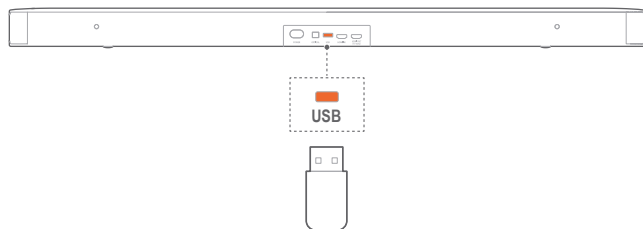
工場出荷時のデフォルト設定に復元することにより、サウンドバーの個人的な設定は全て削除されます。

- サウンドバーで、**U**と**G**ボタンを10秒以上長押ししてください。
 - 「**RESET**」と表示されます。
 - サウンドバーにスイッチが入り、それからスタンバイモードになります。

9 ソフトウェアのアップデート

製品のパフォーマンスを最大限に引き出し体感いただくために、JBLはサウンドバー用のソフトウェアアップデートを提供することがあります。アップデートファイルのダウンロードに関する詳細については、www.jbl.comにアクセスするか、またはJBLコールセンターにご連絡ください。

1. 現在のソフトウェアバージョンを確認するには、ソフトウェアバージョンが表示されるまで、サウンドバーの**G**と**-**ボタンを長押ししてください。
2. USBストレージ機器のルートディレクトリにソフトウェアアップデートファイルを保存したことを確認してください。サウンドバーにUSB機器を接続してください。



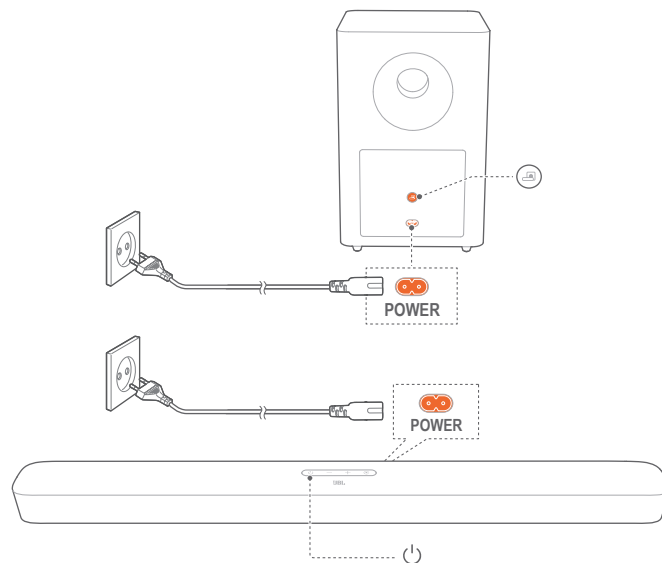
3. ソフトウェアアップデートモードに入るには、サウンドバーの**U**-ボタンを10秒以上長押ししてください。
 - 「**UPGRADING**」:ソフトウェアのアップデート中です。
 - 「**DONE**」:ソフトウェアアップデートが完了しました。確認音が鳴ります。
 - サウンドバーは最後に選択されたソースに戻ります。

注:

- サウンドバーの電源を入れたままで、ソフトウェアアップデートを完了する前にUSBストレージ機器を取り外さないようにします。
- ソフトウェアのアップデートに失敗すると、「**FAILED**」と表示されます。ソフトウェアアップデートを再試行するか、以前のバージョンに戻ります。

10 サブウーファーの再接続

サウンドバーとサブウーファーは、工場出荷時にペアリングされています。電源を入れると、自動的にペアリングされて接続されます。再度ペアリングしなければならない場合もあります。



サブウーファーのペアリングモードに再接続するには

1. サブウーファーでLEDが \square 白色に点滅するまで \square 長押ししてください。
2. サウンドバーでサブウーファーのペアリングモードに入るには、「**SUBWOOFERSPK**」と表示されるまでリモコンの \square ^{BASS}ボタンを長押ししてください。リモコンの**-**ボタンを押してください。
 - 「**SUBWOOFER CONNECTED**」:サブウーファーが接続されています。

注:

- ペアリングと接続が完了しない場合、サブウーファーのペアリングモードは3分で解除されます。 \square 白色での点滅から赤色での点灯に変わります。

11 製品仕様

一般仕様:

- 型名: Bar 2.1 Deep Bass CNTR (サウンドバーユニット)、Bar 2.1 Deep Bass SUB (サブウーファーユニット)
- 電源: 100~240V AC、~50/60 Hz
- 総合出力 (最大@THD 1%) 300 W
- 出力 (最大@THD 1%) : 2x50W (サウンドバー部)
- 200W (サブウーファー部)
- スピーカー構成: 楕円形ドライバーx4+25mmツイーターx2 (サウンドバー部)、165mm (サブウーファー部)
- サウンドバー・サブウーファースタンバイ時消費電力: 0.5W 未満
- 動作保証温度: 0°C~45 °C

ビデオ仕様:

- HDMIビデオ入力: 1
- HDMIビデオ出力 (オーディオリターンチャンネル付き): 1
- HDMIバージョン: 1.4

オーディオ仕様:

- 周波数特性: 40 Hz~20 KHz
- オーディオ入力: 光デジタル端子x1、Bluetooth、USB (米国バージョンではUSBからの再生が可能です。その他のバージョンでは、USBはサービス用途です)

USB仕様 (オーディオ再生は米国バージョン用のみです):

- USB端子: Type A
- USB定格: 5 V DC/0.5 A
- 対応しているファイルフォーマット: mp3、wav
- MP3コーデック: MPEG 1 Layer 2/3、MPEG 2 Layer 3、MPEG 2.5 Layer 3
- MP3サンプリングレート: 16~48KHz
- MP3ビットレート: 80~320kbps
- WAVサンプリングレート: 16~48KHz
- WAVビットレート: 最高3000kbps

ワイヤレス仕様:

- Bluetoothバージョン: 4.2
- Bluetoothプロファイル: A2DP V1.3、AVRCP V1.5
- Bluetooth周波数帯域: 2402MHz~2480MHz
- Bluetooth最大送信電力: 10dBm未満 (EIRP)
- 変調タイプ: GFSK、 $\pi/4$ DQPSK、8DPSK
- 5Gワイヤレス周波数帯域: 5736.35~5820.35 MHz
- 5G最大送信電力: 9dBm未満 (EIRP)
- 変調タイプ: $\pi/4$ DQPSK

寸法

- 外形寸法 (幅x高さx奥行): 965x58x85mm (サウンドバー部)、240x240x379 (mm) (サブウーファー部)
- 重量: 2.2kg (サウンドバー部)、5.7kg (鋳ウーファー部)
- 外装寸法 (幅x高さx奥行): 1045x310x405mm
- 外装重量 (総重量): 10.4 kg

12 トラブルシューティング

絶対に、ご自身で本製品を修理しようとししないでください。この製品を使用していて問題がある場合は、点検を要求する前に以下の点を確認してください。

システム

本機の電源が入りません。

- 電源コードが電源とサウンドバーに挿し込まれているかどうか確認してください。

ボタンを押してもサウンドバーが反応しません。

- 工場出荷時の設定にサウンドバーを復元します (「工場出荷時の設定への復元」の章をご覧ください)。

サウンド

サウンドバーから音が出ません。

- サウンドバーがミュート状態でないことをご確認ください。
- サウンドバーのリモコンで正しいオーディオ入力ソースを選択してください。
- サウンドバーをTVまたは他の機器に正しく接続してください
- サウンドバーを工場出荷時の設定に復元するには、サウンドバーの **U** と **⊕** ボタンを10秒以上長押ししてください。

音が歪んでいるまたはエコーがある

- TVの音声をサウンドバーで再生している場合は、TV内蔵スピーカーが有効になっており同時に出力していないかをご確認ください。

オーディオとビデオが同期していません。

- オーディオシンク機能を利用して音声とビデオの同期を調整してください (「サウンド設定」の章の「オーディオシンク」をご覧ください)。

ビデオ

Apple TVからストリーミングされる映像が歪んでいます

- Apple TVの4KフォーマットにはHDMI ver.2.0以上に対応している必要があります。本製品対応していないため映像が歪んだりTV画面が真っ黒になることがあります。

Bluetooth

サウンドバーに機器が接続できません。

- 機器のBluetoothが有効になっているかどうかを確認してください。
- サウンドバーが別のBluetooth対応機器とペアリングされていた場合は、Bluetoothをリセットしてください (「接続」の章の「Bluetooth接続」にある「別の機器に接続するには」をご覧ください)。
- Bluetooth対応機器がサウンドバーとペアリングされていた場合、機器のBluetooth設定からサウンドバーとの接続を一度解除し、再度機器とサウンドバーをペアリングしてください (「接続」の章の「Bluetooth接続」にある「別の機器に接続するには」をご覧ください)。

Bluetooth対応機器からのオーディオ品質が良くないです。

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。ソース機器をサウンドバーに近づけるか、ソース機器とサウンドバーの間に何も置かないようにしてください。

Bluetooth対応機器との接続が、切れたりつながったりします。

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。ソース機器をサウンドバーに近づけるか、ソース機器とサウンドバーの間に何も置かないようにしてください。

リモコン**リモコンが作動しません。**

- 電池がきれていないか確認してください。電池が寿命の場合は、新しい電池に取り替えてください。
- リモコンとメインユニットとの距離を縮めたり、角度を変えてみてください。

13 商標



The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by HARMAN International Industries, Incorporated is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.



The terms HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.



Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Dolby Audio and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

14 オープンソースのライセンスに関する 注意

本製品はGPLの許可を得たオープンソースソフトウェアを内蔵しています。参考までに、ソースコードと関連する構築指示は <http://www.jbl.com/opensource.html>でも入手可能です。以下までお気軽にお問い合わせください：

Harman Deutschland Gmb

HATT: オープンソース、Gregor Krapf-Gunther、Parkring 3

85748 Garching bei Munchen, Germany

または、製品のオープンソースソフトウェアに関する追加の質問がございましたら、OpenSourceSupport@Harman.comまでお問い合わせください。



ハーマンインターナショナルイン
ダストリーズ株式会社 (HARMAN
International Industries, Incorporated)
8500 Balboa Boulevard, Northridge,
CA 91329 USA
www.jbl.com

© 2020 HARMAN International Industries, Incorporated(ハーマンインターナショナルイン
ダストリーズ株式会社)。

無断複写・転載を禁じます。

JBLは、ハーマンインターナショナルインダストリーズ 株式会社(HARMAN International
Industries, Incorporated)の、米国および/またはその他の国々の登録商標です。特徴、仕様お
よび外観は、予告なしに変更されることがあります。